

# 副詞“再”の用法について

郭 春 貴

(受付 2000年10月16日)

## 0.

日本人にとって、副詞“再”の用法は簡単そうに見えて、実は厄介な副詞の一つと言える。日本語の漢字の「再び」というイメージが強いせいか、中国語の“再”も「再び」「もう一度」だけと思いがちで、次のような誤りを起こしてしまう。

(1) 昨日彼は再び來た。

\*昨天他再来了。

(2) 先生はもう一度説明した。

\*老师再说明了一次。

以上のような誤りはよく“再”が未来における重複を表し、過去のことには使えないという説明で簡単に直せる。しかし、次の例文は過去のことではないだろうか。

(3) 毕业后，我再也沒见过他，可昨天却偶然在车站碰上他。

(卒業後，再び彼に会ったことはなかったが，昨日偶然駅で彼に会った)

多くの学生はこのような例文に“再”を使わず，“毕业后，我没见过他，可昨天却偶然在车站碰上他”というような文を書くことが多い。これは間違いではないが、中国語として、何か物足りない。

また、動作の繰り返しではなく、いつかすることを表す“再”もあまり使わない。例えば、「この問題は今言わないで、明日話してください。」学生はほとんど“再”を使えず，“这个问题现在别谈，明天谈吧。”と訳す。これも間違いではないが、中国語はやはり“再”をよく使い，“这个问题现在别谈，明天再谈吧。”と言うのが普通である。

それから，“再高一点儿。”(もう少し高くして)“再贵我也要买。”(どんなに高くても私は買う)のような程度の増強を示す“再”も使えず，“更高一点儿。”“更贵我也要买。”のような誤文を作ってしまう。

本論文は学生の誤文の観点から、副詞“再”的用法について論じたい。

## 1. 辞書・文法書などの説明について

**1.1** まず、中国語の文法を勉強する時によく使われる代表的な辞書《现代汉语词典 修订本》と文法書《现代汉语八百词 増订本》《实用现代汉语语法》の“再”についての説明をここに挙げる<sup>1)</sup>。

《现代汉语词典 修订本》(以下《现代》と略す)は副詞の“再”について次の5項目を挙げている。

- ①「もう一度」を表す。
- ②「更に」を表す。
- ③ある状況が継続するならば、何か起こることを表す。
- ④一つの動作の後にもう一つの動作が行われることを表す。
- ⑤「他に」、「補充すること」を表す。

《现代汉语八百词 増訂本》(以下《八百》と略す)は次の5項目を挙げている。

- ①動作(あるいは状態)の重複、あるいは継続を表す。
- ②ある動作が一定の状況で行われることを表す。
- ③形容詞の前に使われ、程度の増加を表す。
- ④否定詞と一緒に使われ、重複しないことを表す。
- ⑤「他に」を表す。

《实用现代汉语语法》(以下《实用》と略す)は次の4項目を挙げている。

- ①同じ動作の重複あるいは継続を表す。
- ②ある動作の後に行われることを表す。「その後」の意味を含む。
- ③程度が深まることを表す。形容詞の前に使われることが多い。
- ④範囲の拡大を表す。追加の意味を含む。

**1.2** 《现代》の③は①と同じく継続あるいは重複を表すので、一つにまとめられる。例えば、“我想再做。”(私はもう一度やりたい)と“要是我想再做下去，你同意吗？”(もし私がもう一度やりたいと思ったら、君は賛成するか)の“再”は同じと思われる。《八百》の④否定詞と一緒に使われることも①に含まれる。例えば、“我想再吃。”(私はもっと食べたい)と“我不想再吃。”(私はもう食べたくない)の“再”は同じであるので、《实用》と同じく4項目にまとめられる。

---

1) ここでは、例文を省略する。それぞれの用法について論じる時にその都度引用する。

この4項目は確かに“再”の文法機能をまとめていると思われるが、なぜ日本人の学生は使いこなせないのでだろうか。以下にこの4つの用法に関する学生の誤文を分析しながら、その用法を説明したい。

## 2. 同じ動作あるいは状況の未来における重複あるいは継続を表す“再”

**2.1** “再”は動作をもう一度繰り返す、あるいは状況が継続することを表す。例えば、

- (4) 哥儿们，别泄气，再来一次呀。(梁40)  
(兄弟，諦めないで，もう一度頑張ろう)
- (5) 要注意身体，别再喝酒了。(苏69)  
(体に気をつけて，もう酒をやめなさい)
- (6) 告诉你，以后布市上，晓市上，是大家伙儿好好作生意的地方，不准再有偷，抢，讹，诈。(老35)  
(言っときます，今後，布市や朝市は皆仲良く商売する所であるから，再び盗み，強盗，詐欺などは許さない)
- (7) 疯子，别再难过。(老35)  
(疯子，もうこれ以上悲しまないで)

(4) (5) の“再”は動作を繰り返し行うことを表す。(6) (7) は状態が継続して存在することを表す。この“再”はそれほど難しくないので、学生はあまり間違えないが、一部の学生は過去の重複や継続を表す文にも“再”を使ってしまう。これは日本語の「再び」という漢字の影響で、過去に繰り返した動作にも“再”を使ってしまったものと思われる。例(1) (2) は“再”ではなく、過去の重複や継続を表す副詞“又”を使うべきである。正しい文は次の通りである。

- (1) 昨天他又来了。  
(2) 老师又说明了一次。

**2.2** 学生がよく間違えるのは、数量詞と一緒に使う場合である。

- (8) もう一度言って下さい。  
\*请再一次说。
- (9) もう一度中国に行きたい。  
\*我想再一次去中国。

以上に挙げた辞書や文法書ではこの重複を表す“再”と数量詞との使い方を説明していないので、学生は母国語の日本語の影響で数量詞を“再”の後に置いてしまう。しかし、“再”

は一般的には動詞を直接修飾するのであって、数量詞は修飾しない。(8) (9) の正しい文は“请再说一次。”“我想再去中国一次。”である。

しかし、“再”が数量詞の前に置けないわけではない。例えば、

- (10) 我国政府就此事再一次发表声明。(八643)

(我が国の政府はこのことについて、再び声明を発表した)

- (11) 一时不知是什么滋味充满了心头，好像再一次地和他相会，又一次地和他分别。(张19)

(急に心の中に訳のわからない気持ちが満ちてきて、まるでもう一度彼と再会して、また彼と別れたような気分だ)

この用法は一般的の文法書では、書面語しか使われないと説明しているが<sup>2)</sup>、実際は、口語でも次のような言い方がある。

- (12) 地理老师再一次厉声地说：“伸出手来！”(张113)

(地理の先生は再び厳しい声で言った、「手を出しなさい」)

- (13) 当我再一次醒来，睁开眼睛，天空已经变成了蛋青的颜色。(白71)

(私が再び目が覚めた時、空は既に自身の色に変わった)

筆者の分析では、単に書面語というのではなくて、“再”と数量詞の位置は動詞とその目的語と関係がある。例えば，“老师再一次说。”“我再一次醒来。”“政府再一次发表。”“我们再一次相会。”では文として完成せず、必ずその前か後に具体的な内容が要求される。(10) は動詞の前に“就此事”があり、後に“声明”がある。(11) は前後の状況説明があって、“再一次”的後は介詞構造である。(12) は動詞の前に“厉声地”があって、その後にも具体的な会話の“伸出手来”がある。(13) は動作の後にいろいろ状況の説明がある。つまり，“再”と数量詞を動詞の前に置けるのは、目的語に具体性がある場合だけである。

したがって、目的語がなく、単に“再”と数量詞と動詞だけでは、数量詞は必ず動詞の後に置かなければならない。“再一次讨论”“再一次研究”“再一次申请”とは言えない。“再讨论一次”“再研究一次”“再申请一次”と言わなければならない。しかも、筆者の調査においても，“再”と動詞の間に入れることができる数量詞は“一次”しかなく，“一杯”“一个”“两张”“三本”のような数量詞は見当たらなかった。“再一杯喝”“再一个吃”“再两张买”“再三本看”とは言えない。

それから、「もう一度……しなかったら」の否定仮定文では“再”的後には数量詞“一次”は必要ない。例えば、

- (14) もう一度授業に来なかったら、試験を受けられない。

\*再一次不来上课，就不能考试。

○再不来上课，就不能考试。

2) 《现代汉语八百词 增订本》は「書」と明記している。

(15) もう一度宿題を提出しなかったら、先生が怒るよ。

\*再一次不交作业，老师会生气的。

○再不交作业，老师会生气的。

### 2.3 “再”と動詞について

“再”と動詞の関係は簡単そうに見えるが、学生は“再”の後の動詞でよく次のような誤文を作ってしまう。

(16) この問題は簡単ではないので、もう一度考えてください。

\*这个问题不简单，请再想一次。

\*这个问题不简单，请再想。

(17) この問題をあなたたちはもう一度検討してください。

\*这个问题你们再研究一次。

\*这个问题你们再研究。

まず、日本語の「もう一度」が全て中国語の“一次”に訳せるとは限らない。例えば、「明日私はもう一度電話する」は“明天我再给你打电话。”になり，“一次”は必要ない。それから、相手に提案する時に、“再”の後ろに裸の動詞を使うのはとてもきつい言い方になる。その時は、動作の軽さを示す重ね形を使うべきである。(16)(17)の正しい言い方は“这个问题不简单，请再想想。”“这个问题你们再研究研究。”になる。したがって、動詞の後に数量詞か他の目的語がなく動詞だけの場合は、謙虚な言い方にするには動詞の重ね形か語氣詞が要求される。他の例を見ていただきたい。

(18) 你呀，再想想，十二年前的今天。(苏241)

(あなた，もっと考えて，20年前の今日は)

(19) 我还要再跟他谈谈。(苏256)

(私はもっと彼と話したい)

(20) 你可以再写嘛！(苏162)

(君はもう一度書くことができるだろう)

### 2.4 “再”と能願動詞の使い方もよく間違える所である。例えば、

(21) 彼にもう一度電話をしたい。

\*我再想给他打电话。

(22) 彼にもう一度電話をすべきだ。

\*再应该给他打电话。

“想”(したい)“应该”(すべきだ)は「もう一度……する」にかかるので，“再”的前に置

かなければならぬ。(21) (22) は“我想再给他打电话。”“你应该再给他打电话。”となる。

- (23) 他喝完一杯，你得再倒上一杯。(苏7)

(彼が一杯飲んだら，あなたはもう一杯注いであげるべきだ)

- (24) 我只是想再看到她一次。如此而已。(梁164)

(私はただもう一度彼女に会いたい，それだけだ)

ところが，能願動詞はいつも“再”の前に置くとは限らない。例えば，

- (25) 这次你不买，下次再想买就没那么便宜了。

(今回君が買わないなら，次にまた買いたいと思っても，もうこんなに安くないよ)

- (26) 这次你不吃，再想吃的时候，可就没了。

(今回君が食べないなら，また食べたいと思う時には，もうないよ)

このように“再”を能願動詞の前に置くのは，“想”“要”“希望”のような自分の願望を表す能願動詞だけである。例えば，“他再想去。”“他再要去。”“他再希望去。”とは言えるが，“他再会去。”“他再能去。”“他再可以去。”とは言えない。また，“再”を能願動詞の前に置けるのは，仮定文だけである。

## 2.5 “再”と否定詞の位置について

### 2.5.1 “再”と否定詞“不”的位置

まず，次の誤文を見ていただきたい。

- (27) 明日私はもう行かない。

\*明天我再不去。

- (28) 彼がもう言ったので，私はもう言わない。

\*他已经说了，我再不说。

以上の誤りはよく見られる“再”と“不”的位置の問題である。同じ動作をもう繰り返さない，同じ状況がもう継続して存在しない場合は，“再”的前に否定詞“不”を置くべきである。従って，(27) (28) の誤文は正しくは“明天我不再去了”“他已经说了，我不再说了。”となる。また今までしていた動作を止めるということを示すために，文末に“了”が必要である。否定詞“不”を“再”的前に置くのは話者の主観的な意志で，もう再びしないというニュアンスが含まれる。

- (29) 我不再说什么，眼泪夺眶而出。(梁50)

(私はもう何にも言わない，涙がポロッと出た)

- (30) 我不再上当，不再把女儿嫁给外边儿！(老13)

(私はもう騙されない，もう娘を他所に嫁がさない)

- (31) 为了攒钱，为了回老家，我们眼下不再要孩子。(梁322)

(お金を貯めるために、田舎へ帰るために、今はもう子供を作らない)

- (32) 我信了，信了，我打这儿起，不再抱怨，我要好好地干活儿。(老58)

(私は信じる，信じる，今日から，もう文句を言わない，ちゃんと仕事をする)

しかし，否定詞“不”を必ず“再”的前に置くとは限らない。例えば，

- (33) 今后再不许你说他这话。(梁187)

(これから、彼にこんなことを言うのはもう許さない)

- (34) 我如果再不回去，我娘就会满街叫喊。(白392)

(私がもしずっと帰らなければ、母はあちこちで叫ぶよ)

(33) の“再不”は「永遠にしない」という意味が含まれ、警告、決心の時に使われることが多い。“再不许”は「これからずっと許さない」という意味である。この「永遠にしない」ことを表すために、よく“再”的後に“也”をつけて，“再也不”の形で使われる。(34) の“再”は“不”を修飾するのではなく，“不回去”という状況の継続を表す。

- (35) 大妈，文君他…他…他再也不能回来了。(梁292)

(おばさん，文君は…彼は…彼はもう帰ってこられないよ)

- (36) 哥，我今后再也不到这种地方来了。(梁172)

(兄さん，私はこれからもうこんな場所に来ない)

- (37) 跳是可以跳，不过右脚再不能当主力脚了。(张215)

(踊れるには踊れるが，右足はもう主力足にはならない)

- (38) 难道你再不想当一个电影演员了么？(梁51)

(まさかあなたはもう映画の俳優になるのは止めた？)

したがって，“再”的前に“不”を置くと、単に動作を再び行わない、状況が継続しないという主観的な意志を示す。後に“不”を置くと、主観客觀の関係なく、「永遠にしない、できない」という意味と、客観的な「否定的な状況」が再び継続することを示す。

### 2.5.2 “再”と否定詞“没”的位置

上に挙げた辞書と文法書では“再”は動作あるいは状況がこれから再び行われる、あるいは再び発生すると説明しているので、学生は未来のことにしか使えないと思い、次のような誤文を作ってしまう。

- (39) あの日，けんかの後，私たちはもう一言も話さなかった。

\*那天吵架后，我们不再说一句话。

- (40) 先生があのようにな話をした後，学生はもう質問をしなかった。

\*老师那么讲以后，学生不再问问题了。

過去において、したことをもう再びしなかった状況を示すために，“再”的前に“没”を使

う。例えば、

- (41) 从那时起，她和他再也没有见过面，然而他的名字，却刻在了她的心上。她没有再爱过别人，也没再被别人爱过。(梁 65)

(あの時から、彼女は彼と会ったことはないが、彼の名前は彼女の心に刻まれた。  
彼女は再び人を愛したことがないし、人に愛されたこともない)

- (42) 我久久地望着他，好半天也没有再问。(梁 87)

(私はずっと彼を見た、しばらく彼に質問をしなかった)

- (43) 我们在大森林中度过了第二夜，我们没有再离得像昨夜那样远。(梁 125)

(私達は大きい森の中で第二夜を過ごした、私達はもう昨夜みたいに遠く離れなかつた)

以上の例に見られるように，“再”の前に“没”を使うのは、過去のある時点でもう一度しなかつた（繰り返さなかつた）ことを示すためである。“不”はある時点からずっとしなかつた事実を示す。

一方，“没”は“再”的後にも使われる。“再”的後によく“也”と一緒に使われる。この“再没”あるいは“再也沒”は学生は誤るというよりあまり使わない。

- (44) 她调走之后，我也再没有听谁谈起过她。(梁 119)

(彼女が転勤させられた後、私は誰か彼女について言うのを聞いたこともない)

- (45) 从那时起，我再也没有见到她。(梁 163)

(あの時から、私はもう彼女に会つたことがない)

- (46) 因为她并没有到我们连队来找过我，我也再没有机会去她所在的生产队。(梁 253)

(彼女はうちの連に私を訪ねたことがないので、私も彼女がいる生産隊に行く機会がなかつた)

- (47) 他再也没有勇气搭乘1176号汽车了。(梁 70)

(彼はもう1176番のバスに乗る勇気がなくなった)

“再没”あるいは“再也沒”は主にある時点から再び行われたことがないことを示す（例 (44) (45))。もう一つは“再没”あるいは“再也沒”的後が名詞であり、つまりもう何かがなくなったことを示す（例 (46) (47))。

### 3. 動作がある動作を行った後にすることを表す“再”

この“再”は主に2つの用法がある。一つは日本語の「……してから」に当たり、ある動作の後に次の動作を行うことを表す。もう一つは「ある動作をいつかする」ことを表すが、日本語に訳しにくいので、前者よりは理解しにくい。以下にその二つの用法の問題点について

分析したい。

### 3.1 「……してから」の“再”

《現代》《八百》《实用》などの辞書と文法書では、単に「一つの動作の後に次の動作を行うことを表す」と説明している。例えば、

(48) 咱们看完了这个节目再走。(現1566)

(私達はこの番組を見てから行く)

(49) 先把问题调查清楚，再研究解决的办法。(ハ645)

(先に問題をはっきり調査してから、解決方法について検討する)

この“再”は確かに「ある動作を他の動作の後に行う」ことを表している。しかし、次の文もある動作が他の動作の後に行われるが、“再”を使うべきではない。

(50) 今晚彼はご飯を食べてからテレビを見る。

? 今晚他吃了饭再看电视。

(51) 彼は明日家に帰った後で私に電話をする。

? 他明天回家后再给我打电话。

(50) の“再”は“要”に直して、“今晚他吃了饭要看电视。”とすれば正しくなる。(51) の“再”は必要なく、“他明天回家后给我打电话。”でよい。もし、(50) の“他”を“我”に変え、“今晚我吃了饭再看电视。”(今晚食事してから、テレビを見る)とし、(51) の“他”を“你”に置き換える、“你明天回家后再给他打电话。”(明日家に帰ってから彼に電話をしてください)とするなら、文として成立する。

すなわち、「してから」の“再”は單なる描写や説明文には使えない。自らの意志や相手に対する提案を表すものでなければならない。第三者の場合は、例えば、「彼はいつテレビを見るのか?」「彼はいつも食事の後にテレビを見る」のように、会話などで前後関係をはっきりさせるためにならば“再”が使える。(50) は単に彼がご飯の後にテレビを見る説明するだけなので、“再”は使えない。

前後関係をはっきりさせるという状況は提案する時によくあるので、“再”がよく使われる。例えば、

(52) 我完全可以等她做完再去。(梁21)

(私は彼女の仕事が終わるまで待ってから行くのは問題がない)

(53) 丁老，您尝过再说吧。(苏214)

(丁さん、食べてから言いましょう)

(54) 坐到炉边儿来，烤烤火再说。(梁353)

(ストーブの側に座って、暖まってから言いましょう)

### 3.2 「いつかある動作を行う」

《八百》《实用》には「ある動作が、近い将来ある状況の下で発生することを表す」と説明してあるので、学生は次のような誤文を作ってしまう。

- (55) 彼女は来週結婚する。  
\* 她下个星期再结婚。
- (56) 彼らは明後日中国へ行く。  
\* 他们后天再去中国。

「来週結婚する」「明後日中国へ行く」は近い将来に行われる動作であるが、なぜ“再”を使って誤文になるのだろうか。

筆者の調査研究では、この“再”は単にある動作が近い将来ある状況の下で発生することを表すだけではなく、それよりむしろ大切なのは、「今するのではなく、いつかするのを提案すること」である。例えば、

- (57) 这些话回家再说吧。(苏242)  
(この話は家に帰ってから話しましょう)
- (58) 那，你就什么时候有钱再还给我吧。(梁139)  
(それじゃ、君はいつかお金ができるば、返してくれればいい)

(57) は“再”がなくても成立するが、ニュアンスが違う。“再”がない場合は単に「この話は家に帰ってから話す」だが、“再”があると、「今は話さないで、家に帰ってから話す」という提案のニュアンスが強い。(58) は「いつか」を表す“什么时候”があり、今ではなく、いつかお金があったら返せばいいということがはっきりしているので、“再”がなければ、文として成立しない。

次の誤文も見ていただきたい。

- (59) あのことは来週話しましょう。  
\* 那件事下个星期才谈吧。
- (60) お金があったら私に返す。  
\* 有钱才还我。
- (61) この事はいつか考えましょう。  
\* 这件事什么时候才考虑。

以上の誤文は“再”と“才”を間違えて使っている。“才”は「やっと」の意味で、しかも、予定より遅い、あるいは遅かったことを表す。正しい文は“那件事下个星期再谈吧。”“有钱再还我。”“这件事什么时候再考虑。”になる。(59) は“那件事他们下个星期才谈呢。”(あのことを彼らは来週になつたら初めて話すよ) とすれば、話者にとって、来週話すのでは遅いということを表すために“才”を使える。(60) は“他有钱才找我。”(彼はお金があつた

ら初めて私のところに来る) とすれば、話者にとって彼は普段金がなくて、恥ずかしいからあまり来ない、お金ができたらやっと来るということを示すために“才”を使える。

(62) この問題について、明日話しましょう。

这个问题明天谈吧。

(63) 今お腹がすいていないから、あとで食べます。

现在肚子不饿，等一会儿吃。

以上の文は間違いではないが、「今ではなく、いつか」を提案する時には，“再”を使って，“这个问题明天再谈吧。”“现在肚子不饿，等一会儿再吃。”とすれば、いっそ中国語らしくなる。

「いつかある動作をする」という説明だけではとても不十分で、「今ではなく、いつかする」ことを「提案する」場合に、その動詞の前に“再”を使う。したがって、(55)(56)を日本語から訳せば“再”がいらないことがよくわかる。“她下个星期结婚。”“他们后天去中国。”にもし“再”を使うと，“她下个星期再结婚。”は「彼女は来週また結婚する」「他们后天再去中国。」は「彼らはあさってまた中国へ行く」という意味になる。他の“再”的用例も見ていただきたい。

(64) 教丁四歇歇，明儿蹬进钱来再还我。(老25)

(丁四さんにちょっと休んで、明日お金が入ったら私に返せばいいと言って)

(65) 今年不行了，明年再说吧。(张13)

(今年はもうダメだから、来年また考えましょう)

(66) 好吧，你对椅子的意见，我们回头再找个时间研究研究。(张39)

(いいですか、あなたのイスについての意見は、いつか検討しましょう)

3.2.1 この“再”は重複を表す“再”と混乱することがありますと馬希文1985に指摘された。確かに書面ではわからないが、口語のアクセントに現れる。例えば，“明天再唱就没人听了。”はアクセントを“再”に置くと繰り返すことを表し、「今日はもう既に沢山歌ったので、明日また歌うと、聞く人がなくなるよ」というニュアンスである。アクセントを“明天”に置くと、いつか行うことを表す。つまり、「今日歌ったほうがいいよ、明日歌ったら、聞く人はいないよ」という提案である。

#### 4. 追加を表す“再”

4.1 《八百》は「ほかに」「もう一度」と説明している。混乱するので、「もう一度」は1の動作の重複を表す“再”に入れるべきである。《現代》《実用》共に範囲を拡大し、ほかに補充

することを表すと説明している。例えば、

- (67) 院子里种着迎春、牡丹、海棠、石榴，再就是玫瑰和月季。（现1566）

（庭には金木犀，ぼたん，かいどう，ざくろが植えてある。それからバラとコウシングバラもある）

- (68) 懂英语的有小王、小李、老张，再就是老孙。（八645）

（英語がわかる人は王君，李君，張さん，それから，孫さんがいる）

ところが，それだけの説明では，学生が次のような誤文を作ってしまうことも無理はない。

- (69) 私達のクラスには，5人の家庭主婦，それから2人の定年退職のサラリーマンがいる。

\* 我们班有五个家庭主妇，再有两个退休的公司职员。

- (70) 昨晚彼らは酒を飲みに行った。それから，踊りにも行った。

\* 昨晚他们去喝酒了，再去跳舞了。

確かに「ほかに」「追加補充」という意味で使っているのに，なぜいけないのか。実は中国語には，「追加，補充すること」だけでは“再”を使えない場合がある。例えば，

- (71) 你把他的书包，还有衣服，都给他带去。（八252）

（彼のカバン，それに服も持って行ってあげなさい）

- (72) 这些机器我们都能开，而且还能修理。（八194）

（これらの機械を私達は操作できるし，修理もできる）

- (73) 他是个聪明人，又肯努力，所以不到半个月就都学会了。（八634）

（彼は頭がいい，それに努力家だから半月もたたずくすぐ身につけた）

以上の例文の「追加，補充すること」は“再”を使ってない。それぞれ“还”“而且”“又”で表している。しかも，“再”に置き換えることはできない。

- (74) 昨日私たちは映画を見た。それから，また美術館に行った。

\* 昨天我们去看了电影，再去了美术馆。

- (75) あのことは母が言った，父がまた言った。

\* 那件事，妈妈讲了，爸爸再讲了。

- (76) あのことはあなたが直接彼に言ってください，私はまたチャンスを見つけて彼に言う。

\* 那件事，你直接告诉他吧，我又找机会跟他谈。

- (77) 君がビールを2本買ってきて，それから，焼肉か何かも買ってきて。

\* 你去买两瓶啤酒来，又买点儿烧肉什么的来。

以上の誤文は“又”を使うべき所に“再”を使い，“再”を使うべき所に“又”を使ってい。これは2の重複を表す“再”に似ている。“再”はこれから追加，補充することを表す。

“又”は過去に行われた追加動作を説明する。したがって、以上の誤文を正しくすると以下のようになる。

- (71) 昨天我们去看了电影，又去了美术馆。
- (72) 那件事，妈妈讲了，爸爸又讲了。
- (73) 那件事，你直接告诉他吧，我再找机会跟他谈。
- (74) 你去买两瓶啤酒来，再买点儿烧肉什么的来。

筆者の例文調査では，“再”が追加、補充することは形容詞では見つけることができなかつた。名詞の場合は必ずいくつかのものを羅列して、そのほかにもう一つ二つを追加することを表す。違う種類のものの追加には“再”を使えない。例(69)の追加するものは同類ではなく、羅列している訳でもないので，“再”ではなく，“还有”を使うべきである。“我们班有五个家庭主妇，还有两个退休的公司职员。”となる。動作の追加は、過去の動作の追加にはもちろん使えない。必ずこれから行われる動作について話し相手に自分の意見や提案を表す。例(70)は過去の動作なので，“再”ではなく，“还”を使うべきである。

“昨晚他们去喝酒，还去跳舞了。”となる。

- (75) 你嘛，再另外找一个漂亮的姑娘，做丈夫，当爸爸。(梁146)  
(あなたはね、また他の綺麗な娘を捜して、旦那さんになり、父親になりなさい)
- (76) 谈谈丢了它的危害性，再联系你自个儿的实际。(苏150)  
(それを失った危険性について話して、それから、自分の経験を加えて話してください)
- (77) 逢到那个时候、我就巴不得自己再生出两个十分冷静的脑袋。(张105)  
(その度に、私はすぐにもあと2つの冷静な頭脳があればと切望した)
- (78) 再给我五分钱，我要买一盒彩色蜡笔。(梁188)  
(あと5分下さい、私はクレヨンを買いたい)

(75)(76)は相手に提案し、(77)(78)は自分の願いを述べている。したがって、追加を表す“再”は単に追加を表すだけではなく、提案や願望のニュアンスも含まれる。

**4.2** 追加を表す“再”は話者が自分の意見を追加か補足説明するときに、一つの意見を述べたあとに、よく“再说”(その上)，“再不”(さもなければ)，“再比方”(もう一つの例え)として使う。例えば、

- (79) 我还有套旧的呢！再说，这一套儿我穿着小点！(梁165)  
(私はまだ古いのを持っている、しかも、これは私にはちょっと小さい)
- (80) 再不、工作上有了闪失，就会有更多的官儿来收拾你。(苏36)  
(さもなければ、仕事を間違えると、たくさんの官僚があなたを始末しに来るよ)

- (81) 再比方，你当年跟着拆机器卖设备，难道现在叫你掏钱赔？（苏144）  
(もう一つ例えれば、君が以前機械を外して設備を売ったからといって、まさか今君に弁償してもらうだろうか？)

**4.3** 相手に先に何かをして、それから、またはのちに、何かを追加することの提案も“再”で表す。例えば，

- (82) 先记下书的编号和书名，用工作证换一个阅览室的座位牌号，再填写两张借阅单。  
(张24)  
(先に本の番号と書名を記入して、仕事の証明書を閲覧室の座席カードに取り替え、  
それから、2枚の借り出し用紙に記入する)
- (83) 先申请冬衣补助费，钱下来，衣裳买了，你再打道哈尔滨。（苏51）  
(先に冬服の補助金を申請して、お金が下りてから、服を買って、それからハルビンへ行きなさい)
- (84) 严局长夫妇是进了“牛棚”，后来到干校，再后来被遣送到劳动农场。（梁234）  
(嚴局長夫婦は牛小屋に入れられた、その後労動学校に行って、それから労働農場に行かされた)

(82) (83) は未来の追加で、学生はよく“才”と混同する。(82) の“再”は“才”に変え  
ると、相手が先に借り出し用紙に書こうとするが、話者が先に他のことをしてから用紙に書くように注意するニュアンスである。“再”を使えば、単に前後の順序を述べるだけである。(83) の“再”も“才”に置き換えると、相手はもともと先にハルピンに行く予定だが、話者がそれに反対して、先に冬の服費用を申請して、服を買ってから行くことを勧めるニュアンスである。“再”を使えば、前後順序がはっきりする。

(84) は過去における追加だが、二つの“后来”なので、次の“后来”は追加の形になるため，“再”を使わなければならない。

## 5. 程度増加の“再”

**5.1** 《八百》も《实用》も程度の増加という説明で、《現代》は“更加”（さらに）とだけしか説明していないので、学生は次のような誤文を作る。

- (85) 这个再好。  
\* 这是再好。
- (86) 有再漂亮的衣服吗？

この2つの誤文は上記の文法書の簡単過ぎる説明によるものである。実際、単なる程度の増加なら、他の副詞や動詞でも表せる。例えば，“更大点儿”（もうちょっと大きくして）“加大一点儿”（もう少し大きくして）の“更”“加”である。しかし、程度の増加を表す“再”はそれらの副詞、動詞の用法とかなり異なる。まず、形容詞だけとは使えない。例えば，“再多”，“再大”だけでは言えない。しかし，“更大”（もっと大きい）“加大”（大きくして）“增大”（増大する）とは言える。“再”と形容詞のあとには必ず数量詞（不定量詞“点儿”“一些”も含む）と一緒に使わなければならない。また、程度の増加を表す“再”には必ず相手に提案するか命令する気持ちが含まれていなければならない。例えば，

(87) 高点儿，再高点儿。（現1566）

（もう少し高くして）

(88) 再便宜五块钱吧。

（さらに5元安くして下さい）

“更高点儿”は相手にお願いするのではなく、比較の状況の説明をするのである。例えば，“这棵书更高点儿”（この木はもっと高い）“这棵树比那棵树更高点儿”（この木はあの木よりもっと高い）。“更便宜五块钱”は単独では言えないが，“这个比那个更便宜五块钱”（これはあれよりさらに5元安い）なら言える。しかし相手にたいするお願いではない。したがって、(85) (86) の誤文は相手に提案あるいは命令する文ではないので，“再”を使えない。“更”を使って，“这个更好。”“有更漂亮的衣服吗？”と言えばよい。

それから，“再+形容詞+数量詞”という文型は提案のニュアンスも出せるし、仮定文にも使われる。例えば，

(89) 这个游泳池再大一点儿就好了。（实148）

（このプールはもう少し大きければいいな）

(90) 参加的人再多一点儿就好了。

（参加する人がもう少し多ければいいな）

この相手に程度の増強を提案する時に使われる“再”も学生はなかなか使えない。というのも“再高一些”は“高一些”でも通じ，“这个游泳池再大一点儿就好了”は“这个游泳池大一点儿就好了”と言っても意味が変わらないからである。もちろん，“再”があると、程度の増強が一層はっきりするのであるが、学生はあまり使えないようである。

**5.2 提案でなく、状態の程度が最高であり、これ以上増加できない場合も“再”が使われる。**この場合“再”的には形容詞だけで、数量詞や不定量詞はない。文型は“形容詞+得+不能+再+形容詞”と“再+形容詞+也没有了”，“再+形容詞+(也)不过了”の3つである。例えば，

- (91) 已经甜得不能再甜了。(八643)  
(もうこれ以上甘いことはできない)
- (92) 他们俩好极了，好得不能再好了！(八643)  
(彼ら二人は仲がとてもいい，これ以上いい関係はない)
- (93) 你跟我一块儿去吗？那再好也没有了。(八643)  
(あなたは私と一緒に行くのですか，これ以上いいことはない)
- (94) 把军民关系比作鱼水关系，是再恰当不过了。(八643)  
(軍民の関係を魚と水の関係に比喩する，これ以上適當なものはない)

“不能再甜了”，“不能再好”，“再好也没有了”，“再恰当不过了”的“再”は後ろの形容詞の程度の増加を表す。この使い方はよく見ると，“再”の前に“不能”（できない）があるか“再”と形容詞の後に“没有”（ない）“不过”（超えない）という否定詞がある。つまり，これ以上程度を増加することができない，あるいはあり得ないことを示す。

5.2.1 “再”の後が形容詞ではなく，ある状態・物事の程度より高いものがないことを示す“没有比……”という比較文も程度の増加を表せる。例えば，

- (95) 再没有比他这个恶作剧更使我开眼的了。(张110)  
(彼のこの悪事ほど私を喜ばせるものはない)
- (96) 再没有比你更好的了。  
(君よりもっといい人はいない)

程度がこれ以上増加することがないことを“再”で表す。しかも“再”的後には必ず“没有”という否定詞がいる。つまり，「ある状態・物事より何か程度が高いものがない」ということを示す。

5.3 程度の増加を表す“再”は提案と程度の増加が不可能なことを表す以外に，“形容詞の後に“也”と呼応して，「程度がどんなに増加しても……」を表す。強い決心と仕方がないという両方の気持ちを示す場合に使われる。例えば，

- (97) 毁了容易恢复难，可再难也得拼命搞上去。(苏139)  
(壊すのは簡単だが，回復は難しい，しかし，どんなに難しくでも一生懸命にやらなくては)
- (98) 即使天再冷，风再大，我们也不怕。(八643)  
(例えどんなに寒くても，風がどんなに強くても，私達は怖くない)
- (99) 我的本事再大些，再勇敢些，也进不了洛阳城。(白66)  
(私がどんなに能力があっても，どんなに勇気があっても，洛陽城には入れない)

(100) 天再好我们也出不去。

(天気がどんなによくても出かけられない)

(97) の“再难”, (98) の“再冷”“再大”の後の“也”は決心の気持ちを表す。(99) の“再大”“再勇敢”, (100) の“再好”の後の“也”は仕方がない気持ちを表す。

## 6. ま と め

以上述べた副詞“再”的4つの用法の中で、2の重複を表す“再”と3の「……してから……する」「いつか……する」を表す“再”はともに動作が行われる時間と関係があって、時間副詞に属すると言える。しかし、用法はかなり異なるので、教育上ではやはり、分けたほうがいいと思われる。この二つの“再”は初級段階でも教えると思うが、学生の誤文から見ると、文法書などの説明が不十分なのではないかと思われる。特に3の「……してから……する」「いつか……する」を表す“再”は単に時間の問題だけではなく、提案や意志の表明、前後関係をはっきりさせるというニュアンスがあることが大変重要な要素であることを忘れてはならない。

4の追加・補充を表す“再”は範囲副詞と言えるであろう。誤文分析からみると、追加・補充したいことを相手に示すか提案するかの気持ちが必要である。5の程度の増強を表す“再”は程度副詞に属すが、単に程度の増強だけではなく、やはり、相手に提案、命令するニュアンスのあることが重要である。

副詞“再”的4つの用法はそれぞれ異なるが、共通点は話者が相手に提案・命令したり、自分の意志を伝えるニュアンスがあるということである。1の“再”は自分がもう一度するにしても、相手にもう一度やってもらうにしても、相手に知らせるか提案することが重要である。例えば、“明天我再去一趟。”(明日私はもう一度行く) “你明天再去一趟吧。”(明日あなたはもう一度行って下さい)。2の“再”はさらに明らかに相手に提案・命令するときにしか使わない。例えば、“你吃了饭再走吧。”(ご飯を食べてから行きましょう) “这件事明天再談吧。”(このことはあす話しましょう)。3の“再”も相手に自分が追加することを伝えるのはもちろんだが、相手に追加・補充することを提案するニュアンスも大切である。例えば、“你去买两瓶酒来、对了，再买些酒菜来。”(あなたは酒を2本買ってきて、あ、それから、おつまみも買ってきて)。4の“再”的程度の増強も提案・命令文が多い。“再小一点儿。”(もう少し小さくして) “这个东西再小一点儿更好。”(これはもう少し小さければもっといい)。

したがって、副詞“再”には、動作の重複・追加・改めてすること・程度の増強の用法があるが、すべてに共通する使用条件は、相手に宣言、提案、あるいは命令するニュアンスを含むことなので、肯定文は全て未来におけることについて述べることになり、否定文は過去

においてずっとしなかった動作や状況が継続しなかったことを表す。

### 参 考 资 料

1. 吕叔湘1999《现代汉语八百词 增订本》商务印书馆
2. 北京大学中文系 1955, 1957级语言班1982《现代汉语虚词例释》北京商务印书馆
3. 中国社会科学院语言研究所词典编辑室1996《现代汉语词典 增订本》商务印书馆
4. 陆俭明, 马真1985《现代汉语虚词散论》北京大学出版社
5. 刘月华等1983《实用现代汉语语法》外语教学与研究出版社
6. 姜汇川等1989《现代汉语副词分类实用词典》对外贸易教育出版社
7. 李大中1996《外国大学汉语语法偏误分析》北京语言文化大学出版社
8. 马希文1985〈跟副词“再”有关的几个句式〉《中国语文》1985年2期 P 105-114
9. 杨淑璋1985〈副词“还”和“再”的区别〉《语言教学与研究》1985年3期 P 56-61
10. 周刚1993〈说“再”〉《中国语学》240号 中国語学会. P 70-76
11. 岡部謙治1990《この中国語はなぜ誤りか》光生館

### 例文出典及び略称

1. (苏) :《苏叔阳剧本选》北京出版社1983
2. (龙) :老舍《龙须沟, 茶馆》人民文学出版社1984
3. (张) :《北京出版社》北京出版社1980
4. (白) :白桦《白桦的中篇小说》中国文联出版公司1985
5. (梁) :梁晓声《白桦树皮灯罩》北方文艺出版社1986
6. (八) :《现代汉语八百词 增订本》
7. (现) :《现代汉语词典 增订本》

### 试论副词“再”

郭 春 貴

本论文主要从日本学生使用副词“再”的病句来分析一般词典与语法书里对“再”的说明。

总结《现代汉语词典 增订本》《现代汉语八百词 增订本》《实用现代汉语语法》三书对副词“再”的说明，共有4项：1、表示动作将重复或继续。2、表示一动作在另一动作之后发生。3、表示范围扩大，追加补充。4、表示程度加深。

第1项表示动作将重复的“再”，日本学生因为受日语的「再び」的影响，把过去的重复也用上“再”，倒很少把用“又”的地方用成“再”。另外，学生经常犯错误的是把一般数量词用于“再”之后，如“请再一次说。”还有“再”后边儿的动词的用法也常只用单独的动词。如“请再想。”“请再算”。另外表示过去没重复的动作用上未来否定词“不”。如“那时，我也就不再说了。”

第2项表示一动作在另一动作之后发生的“再”，学生们凡是一个动作在另一个动作之后发生就用上“再”，结果出现了不该用“再”而用了“再”的病句。如“小王吃了饭再看电视。”笔者研究显示这个“再”的用法必须是告诉对方或是祈使句，而且必要强调动作的先后才能使用这个“再”。如“我吃了饭再看电视。”“你吃了饭再看电视。”而不能说“他吃了饭再看电视。”另外，除了表示一动作发生在另一动作以外，这个“再”还表示动作不希望现在进行，希望另找时间进行。如“这个问题现在别谈，明天再谈。”

第3项表示范围扩大，追加补充的“再”，学生的病句大多与第1项一样，把该用“再”的地方都用了“又”。另外，如果只说明范围扩大或追加，则不一定得使用“再”，还可能使用“还”，“而且”等。笔者研究结果使用这

## 副詞“再”の用法について

个“再”必须是向对方宣告或是祈使句。如“你去买点儿鱼肉，再买瓶酒来。”

第4项表示程度加深的“再”，日本学生大多不敢用或不会用。如“再高一点儿。”学生只说“高一点儿。”“这个池再大一点儿就好。”学生只说“这个池大一点儿就好。”究竟这个“再”怎么说明好呢？笔者认为这个表示程度加深的“再”是表示说话者觉得某一事物虽已够水平，不过如果再加深更好时，就使用这个“再”提出要求。

总之，从学生的病句看来，现今的语法书或词典对副词“再”的说明还是很不够。笔者研究结果，“再”的4项用法有个共同特点，不论是动作重复或动作后的动作，或追加或程度加深，都必须是说话者向对方宣告或祈求命令对方进行时才能使用。只有第1项表示未来重复的“再”，主语可以是第三者，如“他明年再去中国吗？”。